



だっこするよ

令和2年9月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

備えあれば憂いなし 災害に対するご家庭の備えを点検しましょう

9月に入って朝夕はほんのりと秋の気配が感じられるようになりました。コロナ禍でマスクが常となり、この夏は、本当に暑かったですね。まだまだ熱中症にはくれぐれもお気を付けください。

9月1日は、防災の日です。近年は、地球温暖化に伴って異常気象が起これ、その為に豪雨などの自然災害も大規模化しています。防災の日は、関東大震災など被災した経験から、自然災害、地震や風水害などに対する心構えを育てようと創設されました。昨年の台風でも荒川が氾濫するのではと怖い思いをされた方も多かったのではないのでしょうか。予告無しに襲ってくる災害に向けてどうされていますか？ご家族の安否確認方法の取り決め、食料や飲料の備蓄、避難用持ち出しバック、避難場所や避難経路の確認（北区防災地図が配布されています）隣近所や助け合える友人と話し合っておくなども大事です。災害に対するご家庭の備え力を点検しましょう。こどもとの生活は、安心と安全を備えてこそです。お子さんと一緒に確認してくださいね。

園では、毎月、防火、防災教育を避難訓練として行っています。「何故、訓練をするのか」を皆で話し合い、どうすればいいのかを考えます。一人ひとりが自分の身を自分で守る意識が大切だからです。また、訓練は、どう連携をとるか、災害発生からの通報、連絡、初期消火、避難誘導を迅速、的確に行うための大人自身の訓練でもあります。内容は、「①放送を聞き、保育者の近くに集まる。②その場で安全な場所に集まる。③災害の規模に応じて第一、第二避難場所までの避難の仕方を知り避難する。④お（押さない）・か（駆けない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」を守って避難する」です。0歳児もおんぶされながらもその姿は真剣です。伝わっています。訓練の意味を理解すると誰もおしゃべりする子はいません。8月は一番危険が予想される午睡中の訓練を行いました。放送で驚きながらも、保育士の声掛けに安全な場所に全員避難することができました。「何があっても生きて帰る、何があっても生きて帰す」を合い言葉にしっかり訓練をしていきます。

毎日の施設安全点検、赤羽台消防署の協力を得て、消火器訓練、AED心肺蘇生法の研修、職員の防災教育、危機管理マニュアルの徹底など担当リーダーを中心に行っています。東京都は、帰宅困難者対策条例で、一斉帰宅の抑制を行っています。保護者の皆さんは先ずご自身の命を守る行動をしてください。北区緊急メールにて園の避難状況等を発信いたします。

また、先日、北区からのお手紙を配布いたしました。公共交通機関の計画運休が発表された場合と発表されていない場合も当日朝6時の時点で特別警報（大雨、暴風、大雪、暴風雪等）が発表されている場合は、休園となります。その際は、北区緊急メールにてお伝えいたします。休園の際の対応も事前にご家庭で話し合っておきましょう。

9月も引き続き、門扉でのアルコール消毒、ご家族皆様の検温、体調の聞き取りにご協力をお願いします。また、濃厚接触者、PCR検査を受けられる場合は必ずお知らせください。今月から4、5歳は英語が始まります。秋から幼児組では行事が盛り沢山です。現在のところ運動会、芋掘りバス遠足、焼き芋会、スクールコンサートと続きます。環境教育SDGsへつなげる焼き芋会では今年もファイヤー先生を講師にお迎えする予定です。保護者ボランティア（詳細は後ほど）も募ります。なにかと制限がある今年ですが、その中で、こどもと大人が知恵を出し合い、哲学して、一番面白いことを目指します。写真・コロナ禍で頭を互い違いにして午睡をしているはと組、この後訓練が…